

吉野川水系河川整備計画（点検）

平成27年度 第1回 吉野川学識者会議 を開催しました

吉野川水系河川整備計画の点検について

点検の目的

河川整備計画は当面の具体的な河川整備に関する事項を定めたものであり、流域の社会情勢の変化や地域の意向、河川整備の進捗状況や進捗の見通し等を適切に反映できるよう、適宜その内容について点検を行うものである。

点検の内容

- 1) 流域の社会情勢の変化（土地利用や人口・資産等の変化、近年の災害発生状況等）
- 2) 地域の意向（地域の要望事項等）
- 3) 事業の進捗状況（事業完了箇所、事業中箇所の進捗率等）
- 4) 事業進捗の見通し（当面の段階的な整備の予定等）
- 5) 河川整備に関する新たな視点等（地震津波対策・大規模洪水対策等）

平成27年11月17日（火）、徳島県教育会館にて「平成27年度 第1回 吉野川学識者会議」（出席者16名）を開催しました。

吉野川は流域が広く、河川延長も長いことから2回に分けて開催する予定としており、今回は「流域の概要」、「流域の社会情勢の変化」、「地域の意向」、「事業の進捗状況」、「事業進捗の見通し」の点検状況を報告しました。

会議では、事務局から規約の説明後、議長に中野晋委員、議長代理に山中英生委員を選出し、中野議長の進行で進められました。

「平成27年度 第1回 吉野川学識者会議について」、「吉野川水系河川整備計画の点検について」の説明を事務局より行い、それに対してご意見をいただきました。

委員の皆様からは、治水、利水、環境、河川利用、維持管理等において活発な意見がありました。（裏面参照）
また、今回の会議で併せて審議いただいた吉野川直轄河川改修事業の再評価については、事業継続が妥当との意見をいただきました。

□開催日時：平成27年11月17日（火）

10:00～12:00

□開催場所：徳島県教育会館

（本館5階小ホール）

□出席委員：16名

□傍聴者：23名



吉野川学識者会議 委員名簿

氏名	専門分野	所属
池田 早苗	水質（水環境）	徳島大学 名誉教授
渦岡 良介	地盤工学・地震工学	徳島大学大学院 教授
角道 弘文	農業水利	香川大学工学部 教授
鎌田 磨人	生態系管理（生態学）	徳島大学大学院 教授
河口 洋一	魚類学	徳島大学工学部 准教授
木下 覚	植物生態学	徳島県植物研究会 会長

氏名	専門分野	所属
上月 康則	水環境（環境工学・生態系工学）	徳島大学大学院 教授
小林 實	鳥類	河川・溪流環境 アドバイザー
田中 俊夫	地域福祉	徳島大学 教授
田村 隆雄	治水計画（森林水文学）	徳島大学大学院 准教授
田村 典子	児童教育	四国大学生生活科学部 教授
中野 晋	沿岸域工学	徳島大学大学院 教授

氏名	専門分野	所属
中村 昌宏	地域経済	徳島文理大学総合政策学部 学部長
平井 松午	歴史地理	徳島大学総合科学部 学部長
三神 厚	防災対策（地震）	徳島大学大学院 准教授
武藤 裕則	洪水防御（河川工学・水理学）	徳島大学大学院 教授
大和 武生	文化史・文化財	阿南市文化協会 会長
山中 英生	地域づくり	徳島大学大学院 教授

※渦岡委員と平井委員は所用により欠席となりました。欠席された委員には事務局より事前に意見を伺い議長へ報告しました。

●点検に関するご意見

○治水に関する事項

- ・河道の二極化により植生が増え、更に河道が固定化し、侵食が発生する状況になっている。土砂収支という点からも、侵食対策を考える必要があると思う。
- ・地震津波対策については、県の進捗状況と併せて今後の見通しについて、示していただけたらと思う。

○利水に関する事項

- ・吉野川下流域における農業用水の水流量についての変化を示していただきたい。

○環境に関する事項

- ・吉野川下流域の地下水利用について、養殖業への利用実態や塩水化の現状を教えてください。また、地震津波対策で実施している鋼矢板の打ち込みが地下水や河川の水位・水質に与える影響がどのようなものか教えてください。
- ・侵食、浸透対策における樹木管理だけでなく、河道全体の中で樹木をどう管理していくのかを考える必要がある。
- ・防災工事に合わせた環境改善の仕組みを盛り込んだ計画や工法を考えていただきたい。
- ・洪水時に河川から海へ流出する栄養塩の負荷量について、データの整理を検討してほしい。
- ・外来種の発見から除去、対策に至るまでの工程を河川の維持管理の中に盛り込んでいただきたい。
- ・外来種の繁殖を防ぐためには初期対応が大切である。外来種対策は、より一層力を入れていただけたらと思う。
- ・ダム運用後の低水流量のデータを示していただいた上で、河川環境における流水調節の議論も必要ではないかと思う。

○河川利用に関する事項

- ・川と接する機会を増やし、水の怖さを含めた実体験をすることで川の本質を知るといった活動をどんどん進めて欲しい。
- ・吉野川流域の市町村で、河川利用が行われていない場所があれば、そこは河川利用の促進が考えられるのではないかと思う。

○維持管理に関する事項

- ・濁水に備えた現行の運用ルールが適切かどうかを、洪水の抑制効果と一体となって議論を進める必要があると思う。
- ・大きな津波や洪水が発生したときにおける総合的な流木対策を検討していただきたいと思う。

○その他

- ・日本全体の社会情勢が変わっている中で、国土強靱化法や国土形成計画等の基本的な理念を踏まえ、社会にどのように対応するのかを考えていただきたい。
- ・長期にわたる事業に関して、早期に効果が発現していることを確認しながら事業を進めてほしい。短期効果を示すことが、重要だと思う。特に重点的・早期にすべき部分を明確に示していただくことが大変重要になってくると思う。



田中 俊夫



小林 實



上月 康則



木下 覺



河口 洋一



鎌田 磨人



角道 弘文



池田 早苗



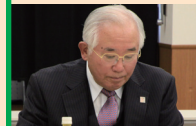
議長 中野 晋



田村 隆雄



田村 典子



中村 昌宏



三神 厚



武藤 裕則



大和 武生



山中 英生

●これらの意見等を踏まえ、平成28年2月～3月時に第2回の学識者会議を開催し、河川整備に関する新たな視点、点検のとりまとめ、今後の方向について、意見をいただく予定としています。

●【吉野川水系河川整備計画（点検）平成27年度 第1回 吉野川学識者会議】の会議資料は、徳島河川国道事務所のホームページからダウンロードすることができます。